

09

2024

Hiroshima Center Rotary Club

Monthly Magazine

vol. 15



ロンガルス絵画同好会 上原悠爾会員作品 「サンレモの港」

広島中央 ロータリークラブ

活動記録：2024年9月のまとめ

事務局

例会日：毎週月曜 12:30～13:30
例会場：リーガロイヤルホテル広島
広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL：082-221-4894
FAX：082-221-4870
E-mail：hrcr@godorc.gr.jp
URL：https://hrcr.gr.jp/



2024/9/2

第2031回例会

場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

クラブフォーラム（クラブ広報）

卓話者

クラブ広報委員会 大内理事
公共イメージ委員会 政岡委員長

担当委員会

クラブ広報

ゲスト

李 道宇さん（米山奨学生）

祝事等

- ・会員誕生日（4名）石原 山野井 猪垣
- ・特別なお祝い（喜寿）原田
- ・配偶者誕生日（6名）
木内 光村 山野井 七枝 山肩 嶋本

会長時間

「基本的教育と識字率向上」

本日は広島ロータリークラブの田中順子様、米山奨学生の李道宇さんに、例会にお越しいただきました。田中様、李さん、ようこそ広島中央ロータリークラブにお越しくださいました。例会をお楽しみください。

先週は上田ガバナーの公式訪問例会に多数の会員の皆様にご出席いただきましてありがとうございます。また理事役員・委員長の皆様にはその後のフォーラムにもご参加いただき闊達な意見交換をしていただき重ねて御礼申し上げます。

上田ガバナーのガバナー信条「行動しよう、未来のために。～変革に取り組もう～」について、直接ガバナーからご説明頂き、クラブ文化の見直しの方法や今後の活動方針も明確になったかと思えます。

さて、9月のロータリー特別月間のテーマは「基本的教育と識字率向上」です。このテーマは、ロータリーが掲げる6つの重点分野の一つであり、世界中の多くの人々にとって、教育

と識字がいまだに重要な課題であることを示しています。

ユネスコによりますと、識字率とは「日常生活の簡単な内容についての読み書きができる15歳以上の人口の割合」と定義されています。世界では7億7500万人もの非識字者がいるとされており、この数は全世界の成人人口の17%に相当します。教育や識字の欠如は、貧困、健康、ジェンダー平等、平和構築といったさまざまな問題に影響を与えており、その改善は多くの社会問題の解決の鍵を握っています。

「基本的教育と識字率向上」がロータリーの重点分野として強調される理由の一つは、教育がもたらすポジティブな影響です。

例えば、すべての女性が初等教育を修了すれば、妊婦の死亡率が66%減少するというデータがあります。また、読み書きのできる母親を持つ子供は、読み書きのできない母親の子供と比べて、5歳以上まで生き延びる確率が50%高くなります。さらに、全世界で全生徒が読み書き能力を習得すれば、1億7100万人が貧困から抜け出すことができ、これは全世界の貧困人口の12%に相当します。このように、教育は社会全体の福祉向上に直結する重要な要素です。

私たち日本では、9年間の義務教育が制度化されているため、教育や識字に関してはあまり深刻な問題とは捉えられていないかもしれませんが、世界には紛争地域や貧困地域など、子供たちが教育を受けることが難しい場所がまだまだ存在します。ロータリーが掲げる「超私の奉仕」の精神に基づき、すべての子供たちが教育を受けることができる世界の実現を目指し、私たちも行動していきましょう。

クラブフォーラム（クラブ広報）



卓話内容は
ホームページに
掲載しております



場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

ゲスト卓話「オーボエとドイツ事情」

卓話者

オーボエ奏者 渡辺 克也 様

担当委員会

プログラム

ゲスト

李 道宇さん（米山奨学生）

祝事等

- ・連続100%出席（1名）嶋本
- ・結婚記念日（5名）頼岡 嶋本 原田 芥川 猪垣

会長時間

「動物愛護週間に思う」

皆さん、こんにちは。例会のご出席ご苦労様です。まだ厳しい残暑が続いておりますので、くれぐれもご自愛ください。

本日は、ゲスト卓話として、オーボエ奏者の渡辺克也様に卓話をいただきます。渡辺様、ようこそ、はるばるドイツより、広島中央ロータリークラブにお越しいただきました。後ほど卓話を宜しくお願いします。

さて、9月20日から26日は動物愛護週間です。動物愛護管理法で、国民の間に広く動物の愛護と適正な飼養についての理解と関心を深めていただくため、動物愛護週間を定めています。

日本人は歴史的に動物との関係が深く、動物の名前をつけた企業も珍しくありません。

例えば、ライオン株式会社、タイガー魔法瓶株式会社、象印マホービン株式会社、ゼブラ株式会社、ブルドックソース株式会社等々。また、昆虫ではありますが、株式会社トンボ鉛筆、ヤンマー株式会社（オニヤンマと創業者・山岡孫吉の「ヤマ」をかけて命名とのこと）。

もう一つ、日本人と動物の関係でいえば、商品の原材料として動物の皮や毛が使われているものもたくさんあります。

例えば、革製の靴やバッグやコートは西洋から伝わったもので日本でも使われていますが、（古く中国から伝わったものも含めて）日本独自のものとしては三味線の皮、印伝、べつ甲、筆、などが挙げられます。

革製品として広く流通している動物に関して、皮を取るために殺すことは禁止されています。その多くは食肉加工の過程の「副産物」として出て来る皮が利用されています。病死

や寿命で亡くなってしまった動物の皮も利用されます。

私事で恐縮ですが、筆に使われる動物の毛は、更に皮から刈り取った毛や尻尾のような革に使われない部分の毛を「副・副産物」として利用させていただいております。

畜産副産物という側面からみると、動物を余すことなく利用するという観点では、革として、更に筆の毛として利用し、最終的に使用し終わった後に土に戻るの「究極のエコ」と言うことができます。逆に、革は副産物ですので、あの種類の肉を食べなくなると、革も生産されなくなります。実際、10年程前に米国でBSEが問題になった際には、牛肉の消費量が激減し、革の価格は高騰したそうです。また、コロナ禍で中国で野生の動物を食べなくなるとイタチのような動物の毛は出てきません。

勿論皮や毛に代わるべく人工の皮や毛を使うこともできますが、石油由来の人工皮や人工毛は使用し終わった後に土には戻りませんので、「究極のエコ」ではありません。

動物と共存共栄できる世界、そして最終的に地球・環境に優しい原材料の使用と製法が重要であり、そういう観点から広い視野で動物愛護の理解を深めていきたいものです。

以上で会長時間とさせていただきます。

（注、「皮」は動物の表皮そのままの状態、「革」は皮を加工して製品の素材に仕上げたもの。）

ゲスト卓話風景



オーボエ奏者 渡辺克也様



2024/9/30

第2033回例会

場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

新会員卓話「自己紹介」

卓話者

木内 良明 会員

担当委員会

プログラム

祝事等

(ニコニコ箱時間S.A.Aより紹介)

- ・入会月（1名）嶋本
- ・創業月（4名）大内 大田 杉本 吉清

会長時間

「敬老の日と健康寿命」

皆さん、こんにちは。例会のご出席ご苦労様です。朝夕涼しくなってきましたが、日中は暑い日が続いておりますので、くれぐれもご自愛ください。

9月は「敬老の日」と「秋分の日」の振替休日と2週連続で休会でした。久しぶりに皆様にお会いできて嬉しく思います。

既に過ぎてしまいましたが、9月の第3月曜日は「敬老の日」でした。多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う日であり、かつ高齢者が自らの生活の向上に努める意欲を高める日というのが趣旨です。

世界でも指折りの高齢化社会を迎えた日本。人生100年時代といわれ、「平均寿命」もトップクラスです。

2019年のデータでは、男性の「平均寿命」は81.41歳、女性は87.45歳です。一方で、同年の「健康寿命」は男性で72.68歳、女性で75.38歳でした。つまり、男性では約9年間、女性では約12年間、健康上の問題が発生し、日常生活が制限されている期間が存在することになります。そこで「健康寿命」の延伸が日本社会全体にとって重要になってきます。

厚生労働省が推進する「スマート・ライフ・プロジェクト」では、主に「運動」「食生活」「禁煙」の3つが健康寿命延伸のための重要な要素として挙げられています。

当クラブの田原会員が著書「人生100年時代に向けて健康寿命を延ばそう」の中で、「がん予防“新12か条”プラス」で健康寿命を延ばすための具体的施策を提示されています。

すなわち、①たばこを吸わない②他人のたばこの煙をできるだけ避ける③お酒はほどほどに④バランスの取れた食生活⑤塩辛い食事は控えめに⑥野菜や果物は不足にならないように⑦適度に運動⑧適切な体重維持⑨ウイルスや細菌

の感染予防と治療⑩定期的ながん検診を受ける⑪身体の異常に気付いたら、すぐに受診⑫正しいがん情報でがんをする、プラス⑬口腔・歯の健康維持、です。

当クラブでは、医療従事者が多いこともあり、会員各自がそれぞれ適切なアドバイスを受けながら、健康寿命の延伸に格別な注意を払っていただいております。また、戦略計画委員会でも「人生100年時代に向けて健康寿命を延ばそう」ということで、会員自身が健康に対する意識を日ごろから高め、暴飲暴食を避け、健康診断を受ける。尚かつ、ストレスを溜めない為に息抜き出来る趣味を作る。趣味を生かした同好会を増やすなどして、仲間と楽しむ場を提供することを推奨しています。

健康寿命を伸ばし、より多くの方が元気に長生きできる社会を目指して、私たち会員一人一人が日々の生活の中で少しずつ取り組んでいくことが求められておりますし、更には、これを地域社会の皆さんに広めていきたいものです。

以上で会長時間とさせていただきます。

新会員卓話「自己紹介」の風景

